

これからの教育はどうなるの？

教育行政学研究室では、教育に関する事象について、政策や制度、法規、財政といった視点から調査・討議・論究を行っています。

ゼミ所属当初は、課題図書を通じて、教育に関する様々な事象について関心を拡げていきます。次に、教育行政学研究を進めるにあたっての基本的アプローチ方法を学びます。



文献読み合わせ会

その後、3年生冬に実施される卒業論文構想発表会に向けて、それぞれの関心にもとづき、研究テーマの設定を行い、卒業論文の骨格を組み立てることとなります。



具体には、先行研究を参照しながら、適切な研究方法を選択し、章節構成案を考え、自らのオリジナリティを探究しつつ、無理のない研究スケジュールを立てることとなります。その際、ゼミにて進捗状況を発表し、ゼミ生同士で議論やブレインストーミングを行い、研究計画の適切性を高めます。

調査内容の報告と討議

4年生になると本格的に卒業論文の執筆が始まります。最初は、資料収集の不十分さやインタビュー調査・アンケート調査の具体的な項目だてやワーディング、収集したデータの分析と解釈等、様々な課題に気付くこととなります。しかしながら、周囲からの助けと自らの努力によって、12月には成熟した卒業論文として完成に至ります。

この他にも、ゼミの時間とは別に、教員採用試験を受験しようとする者を対象に、勉強会を実施しています。勉強会では、教員採用試験への単なる対策のみならず、同じ志を有する者で夢や現実を語り合い、内省することを通じて、教員としての使命感を高めています。



卒業おめでとう!!